実施主体：ＪＡ山口県周防大島統括本部（周防大島みかんカレッジ運営主体）

日時：令和７年９月17日（水曜日）午前９時から午前10時半まで
※雨天の場合は18日（木曜日）となります。

場所：周防大島町久賀地域内のかんきつ園地

内容：

時間	内容
９時00分から ９時40分	訪問先(1)：藤原春美（ふじわらはるみ）氏 長年の経験から得たみかん経営に必要な観察力等について
９時40分から ９時45分	（移動）
９時45分から 10時30分	訪問先(2)：小柳貴史（こやなぎたかし）氏（山口県指導農業士） マルドリ栽培等による高品質・安定生産の取組について

※時間は多少前後することがあります。

参加者：研修生２名、周防大島町、ＪＡ山口県、県関係者等　約８名

【お問い合わせ先】
ＪＡ山口県周防大島統括本部　　Tel　0820-72-0970（担当：矢原）

（参考）
〇周防大島みかんカレッジ
・令和７年７月１日開校、運営主体はＪＡ山口県周防大島統括本部
・主な研修内容は、基礎的知識や技術を学ぶ座学、実際の栽培園地での実習、先進農家への派遣研修等
・研修期間は基本的には２年。研修期間中は、町、ＪＡ、国、県等の支援制度を受けながら研修受講が可能

〇マルドリ栽培
・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が開発した「周年マルチ点滴かん水同時施肥法」のこと。マルチシートの下に点滴（ドリップ）チューブを設置する栽培方法で、それぞれの名称の一部を取り、「マルドリ」と呼ばれる。これは潅水時に液肥を混入して施用することで、施肥や潅水を省力的にコントロールすることにより、高品質な果実生産が可能となる栽培技術